

平成 30 年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業

石狩市 地球温暖化に関する市民アンケート調査

調査結果

平成 31 年 2 月

北海道地球温暖化防止活動推進センター

1. 調査目的

本調査は、石狩市及び北海道の連携のもと、石狩市民の CO₂ 排出に関わるライフスタイルの特性や石狩市の環境施策に対する認知度等を把握し、今後展開すべき温暖化対策の施策検討に向けた基礎情報を獲得することを目的としています。

2. 調査概要

1) 調査主体

本調査は、北海道地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人北海道環境財団）が主体となり、石狩市及び北海道の連携協力を得ながら実施したものです。

2) 調査期間

平成 30 年 10 月～11 月

3) 調査対象

石狩市民 1,000 人

※ 住民基本台帳より 18 歳以上を無作為抽出

4) 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒により回収

5) 調査内容

地球温暖化に関する認識、省エネルギー行動実施状況、カーボン・オフセット及び石狩市オフセット・クレジット（いしかり J-VER）の認知度等について

※ 詳細は報告書末尾の調査票参照

6) 回答数（回答率）

365 人（36.5%）

※ 最終回答日：平成 30 年 11 月 12 日

7) その他

本調査では、集計結果の数値を小数点以下第 1 位で四捨五入しています。

3. 調査結果

3-1. 回答者の属性

1) 概要

年代は70代以上が31%と最も多く、次いで60代(27%)、40代(15%)と続いています(図1)。世帯人数は2人世帯が41%と最も多く、次いで1人世帯(23%)、3人世帯(20%)となりました(図2)。住居形態は戸建住宅(持家)が82%を占めています(図3)。職業は無職が32%と最も多く、次いで会社員(団体職員)(19%)と続いています(図4)。男女比は男性44%、女性55%となりました(図5)。

2) 集計結果(図)

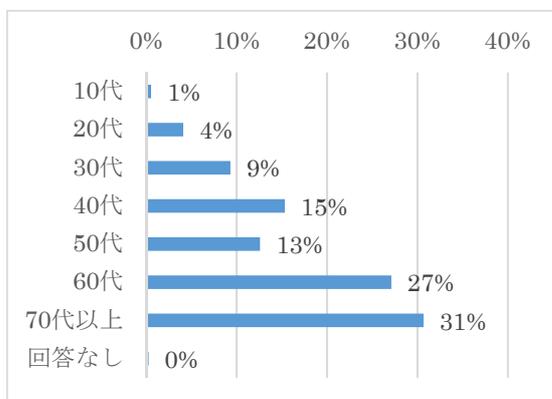


図1. 年代 (n=365)

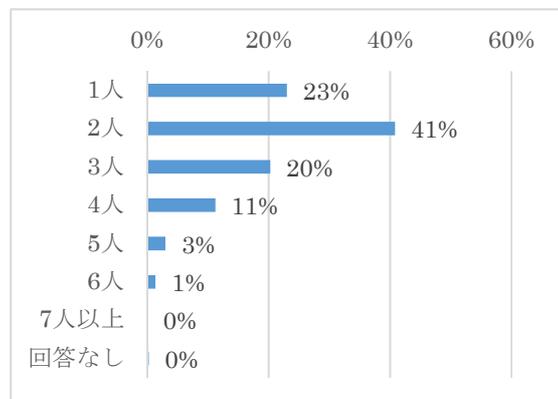


図2. 世帯人数 (n=365)

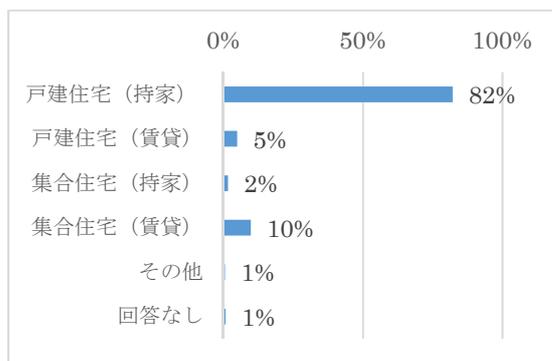


図3. 住居 (n=365)

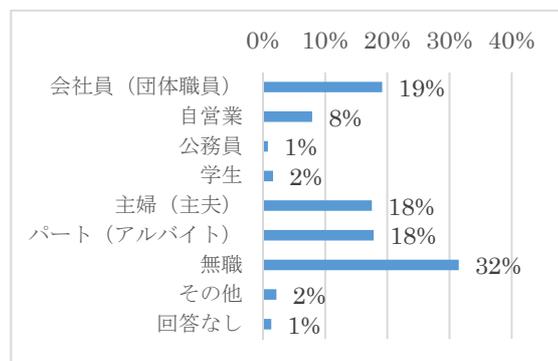


図4. 職業 (n=365)

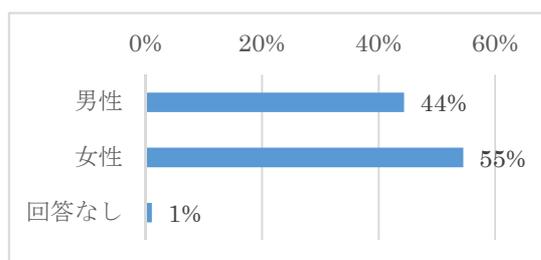


図5. 性別 (n=365)

3-2. 地球温暖化に関する認識について

1) 概要

問1の地球温暖化の影響を実感するのはどれくらい先になるかという設問では、「既に実感している」との回答が59%と最も多い結果になりました(図6)。なお、「日本人の環境意識に関する世論調査(平成28年度・国立環境研究所)」及び「網走市地球温暖化対策に関する市民アンケート調査(平成29年度・北海道環境財団)」における同様の設問では、「既に実感している」との割合が前者で77%、後方で82%となっています。

問2の温暖化防止に向けて暮らしや生活習慣を変える必要があるかという設問では、「そう思う」が61%、「ややそう思う」が28%となり、合わせると89%が必要だと回答しています(図7)。前述の世論調査及び網走市アンケート調査同様の設問では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答が前者で73%、後方で77%となっています。

問3の暮らしの中で温暖化対策につながる取組みの実践状況については、「快適な生活を損なわない程度に実践している」が48%と最も多く、次いで、「多少手間がかかっても積極的に実践している」(12%)、「あまり実践していない」(16%)、「どちらともいえない」(15%)となっています(図8)。

問4の温暖化対策に取り組むことへのイメージはどのようなものかという設問では、「生活の質に影響を与えないもの」という回答が31%と最も多く、「生活の質が低下するもの」(24%)、「生活の質を高めるもの」(21%)と続いています(図9)。なお、世界市民会議 World Wide Views(日本事務局:科学技術振興機構)が実施した「世界市民会議“気候変動とエネルギー”における調査(平成27年度)」における同様の設問では、「生活の質を高める」との回答が世界平均(29ヶ国)では66%、日本だけでみると17%となっています。

問5の国が2030年度までに26%(2013年度比)の温室効果ガスを削減することを目標としていることへの認知度は「知っていた」が45%と、半数以下となっています(図10)。

問6の国民運動クールチョイスの認知度は「知っていた」が16%という結果でした(図11)。一方、内閣府による「地球温暖化対策に関する世論調査(平成28年度)」では、国民全体のクールチョイスの認知度は28%となっています。

2) 集計結果(図)

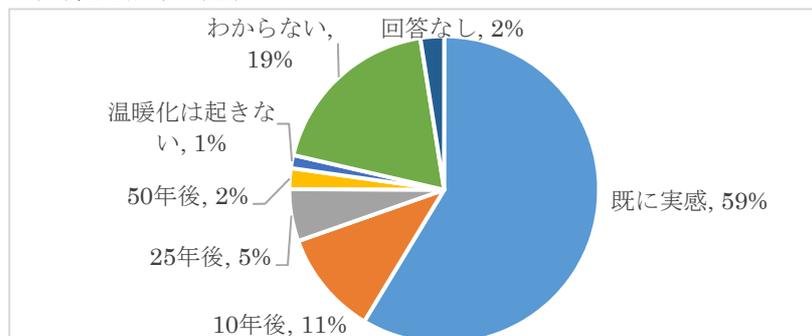


図6. 石狩市において温暖化の影響を実感するのはどれくらい先だと思うか(問1、n=365)

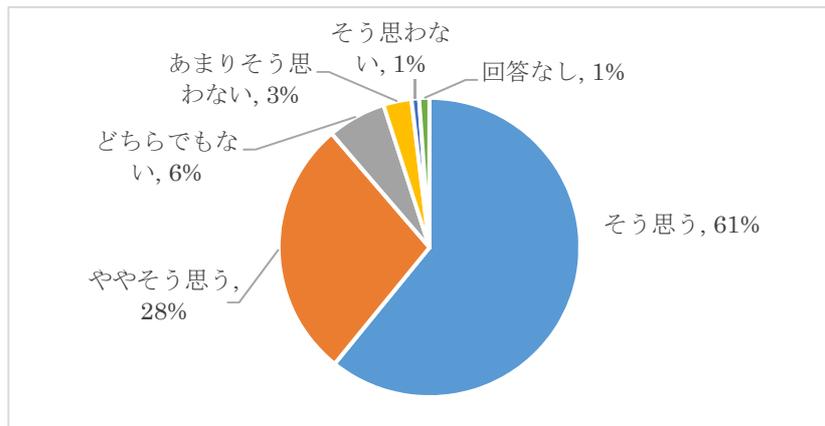


図 7. 温暖化を防ぐため、暮らしや習慣を変えていかなければならないと思うか (問 2、n=365)

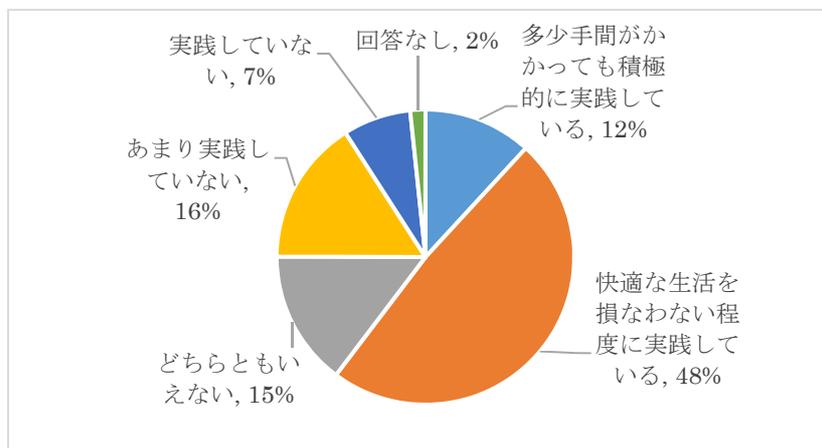


図 8. 暮らしの中で温暖化対策につながる取組みをどの程度実践しているか (問 3、n=365)

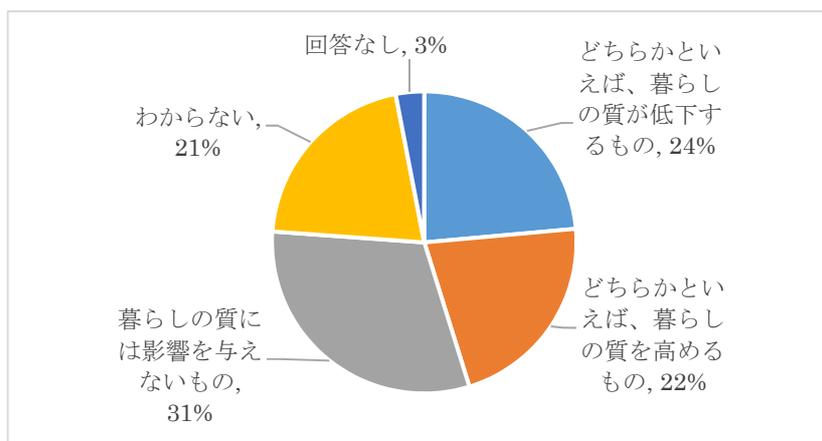


図 9. 温暖化対策に取り組むことのイメージはどのようなものか (問 4、n=365)

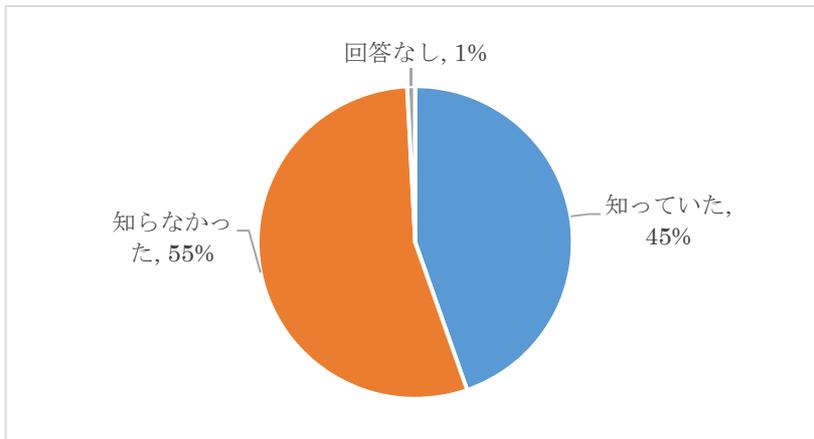


図 10. 国の温室効果ガス削減中期目標の認知度 (問 5、n=365)

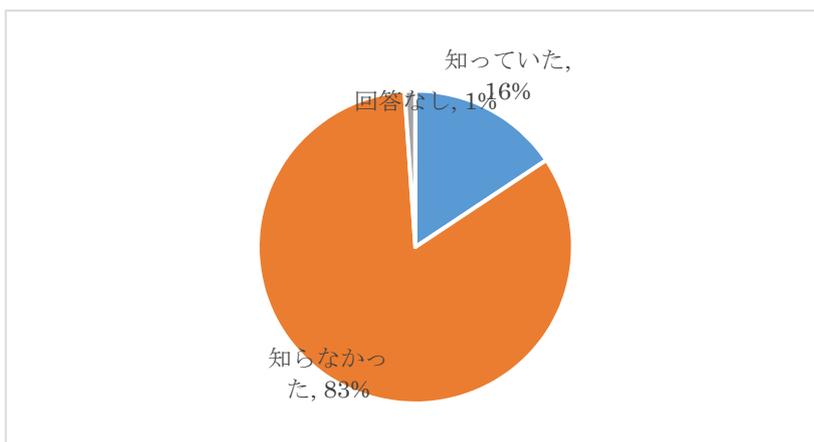


図 11. 国民運動「クールチョイス (COOL CHOICE・賢い選択)」の認知度 (問 6、n=365)

3-3. 省エネルギー行動実施状況について

1) 概要

石狩市における家庭での省エネルギー行動実施状況を把握するため、環境省による「家庭部門のCO₂排出実態統計調査（平成29年度）」との比較を考慮しつつ、17の調査項目を設計しました。

行動実施状況（図12）については、「実践している」との回答が多い行動内容は、「①シャワーを使うときは不必要に流さない」（88%）、「⑧温水洗浄便座の温水の設定温度を低めにしている」（79%）、「⑩状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯・自動調光を含む）」（78%）などが挙げられます。一方、「実践していない」との回答が多いものは、「⑬暖房による室温設定は20度を目安にしている」（47%）、「⑮調理を行う時は、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている」（47%）、「⑤テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」（44%）となっています。

また、それぞれの設問における実践していない理由（図13）では、「生活や習慣を変えることが難しい」という回答が上位を占めており、特に「⑬暖房による室温設定は20度を目安にしている」では59%と最も多い結果となっています。そのほか、「④テレビの明るさを抑えている」は「やり方がわからない」、機器交換を伴う「⑫白熱電球をLED電球に交換」では「経費がかかる」が最も多い傾向でした。

なお、「家庭部門のCO₂排出実態統計調査（平成29年度・環境省）」による全国値と石狩市の結果（図14）を比較すると、石狩市の方が「⑮調理を行う時は、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている」以外、実践率が高いという結果となりました。中でも「⑩状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯・自動調光を含む）」、「⑧温水洗浄便座の温水の設定温度を低めにしている」における実践率の差が大きく、ともに全国値より石狩市の結果が28%高いと示されました。

2) 集計結果 (図)

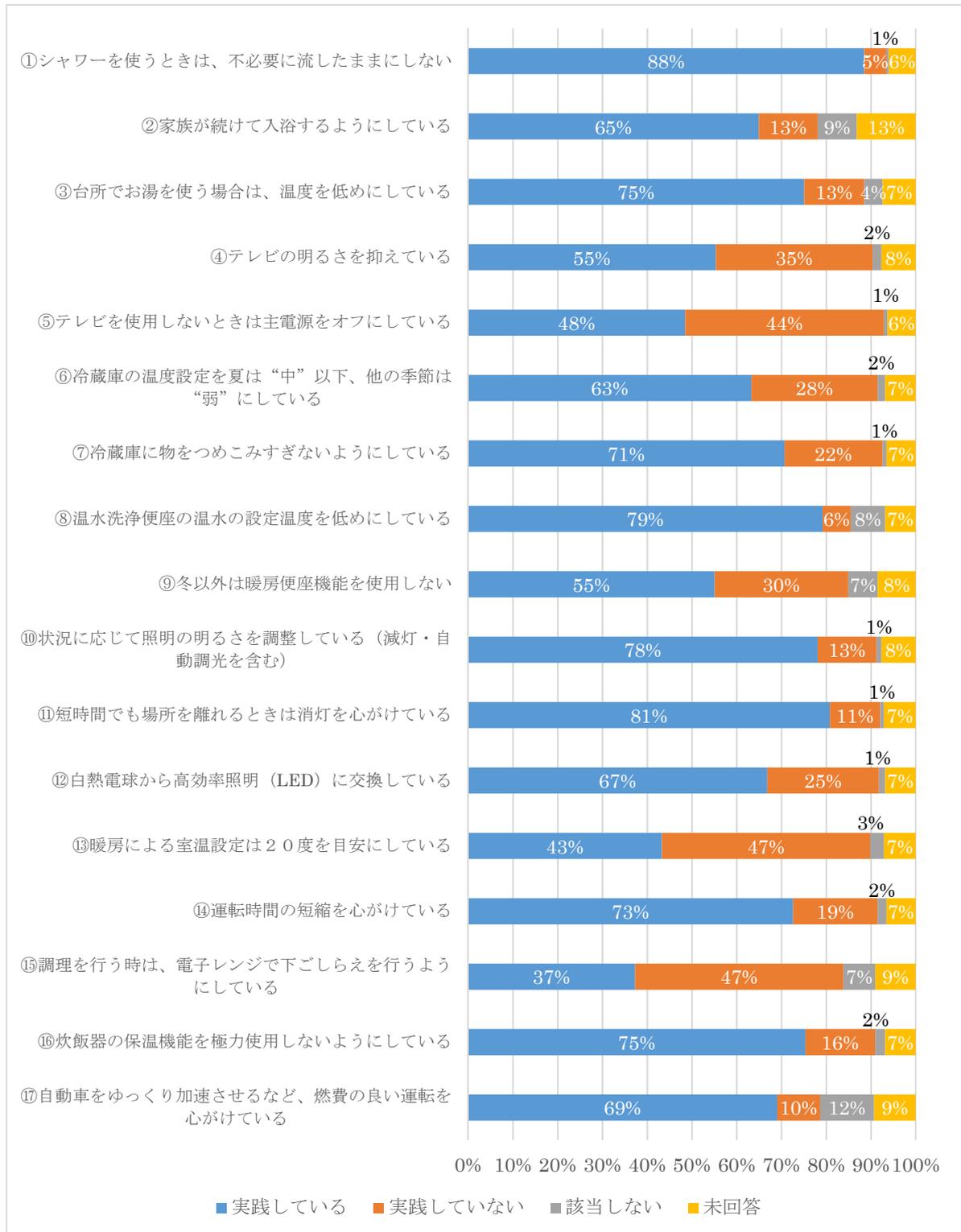


図 12. 省エネルギー行動実施状況 (問 7、n=365)

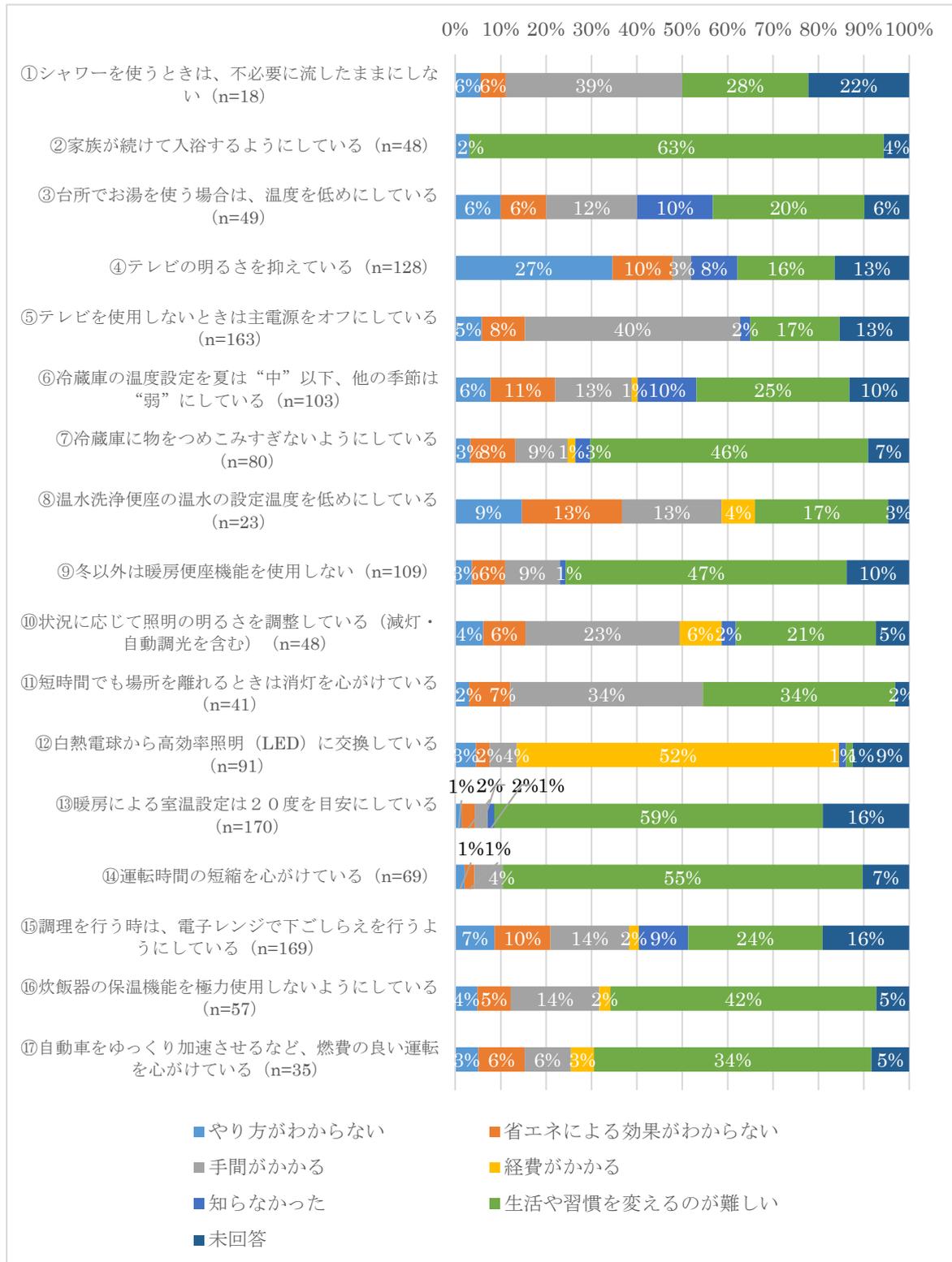


図 13. 省エネルギー行動実施状況・実践していない理由 (問 7)

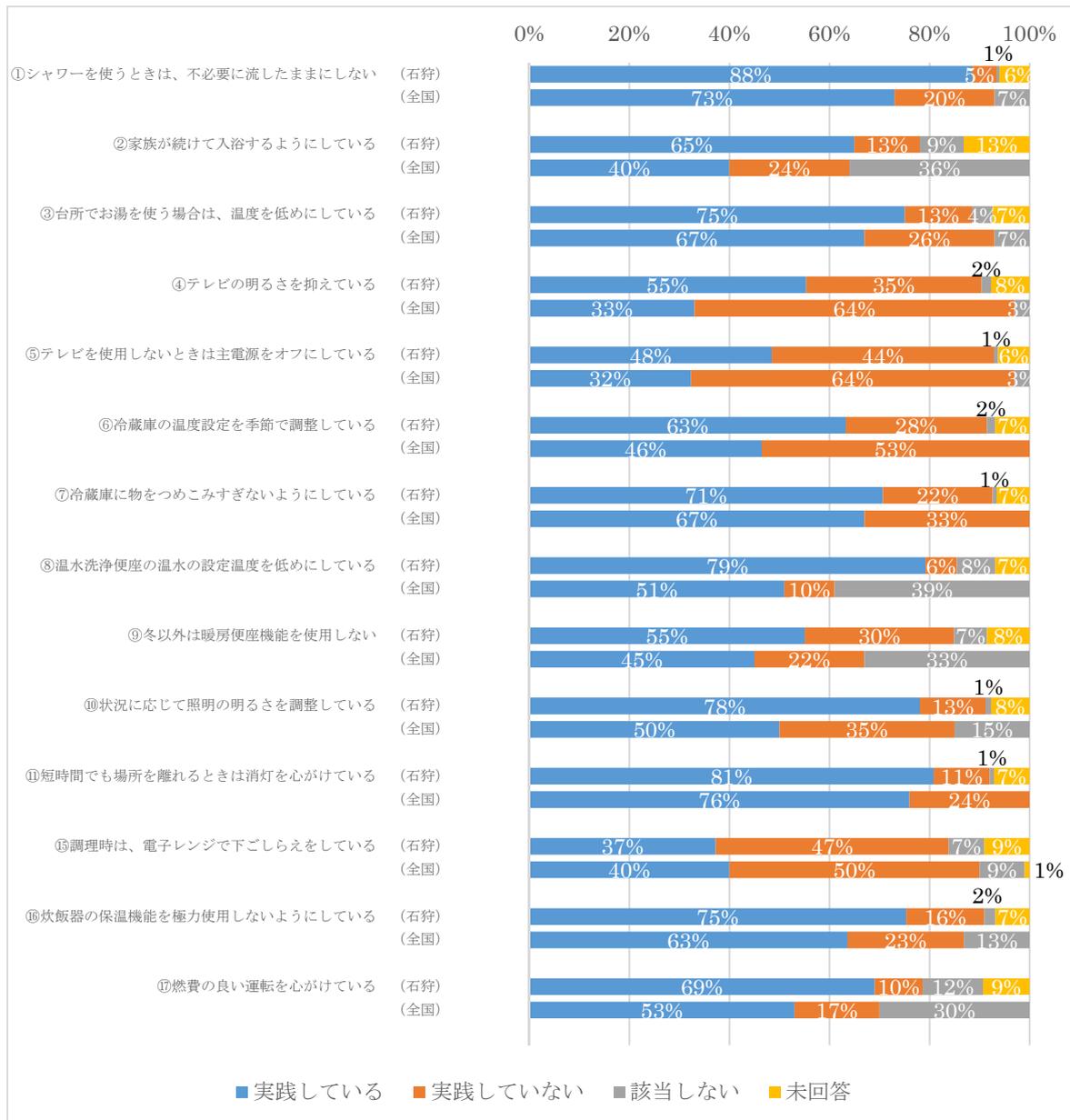


図 14. 家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査 (平成 29 年度・環境省)・全国値と石狩市の比較 (問 7)

3-4. カーボン・オフセットについて

1) 概要

問8のカーボン・オフセットの認知度は、「よく知っている」が3%、「ある程度知っている」が11%で、合わせて14%という結果でした（図15）。

問9のカーボン・オフセット商品購入の有無については、「ある」が8%、「ない」が84%でした（図16）。

問10のカーボン・オフセット商品・サービスについて意識して購入するかという設問では、「購入の判断材料にしない」が55%で最も多く、次いで「同種製品と価格が同じであれば購入する」（29%）、「価格が高くても購入する」（2%）でした（問17）。

問11の企業がカーボン・オフセット商品・サービスを提供することについて好感を持つかという設問では、「どちらでもない」が33%と最も多く、「好感を持つ」（27%）、「やや好感をもつ」（22%）と続いています（問18）。

2) 集計結果（図）

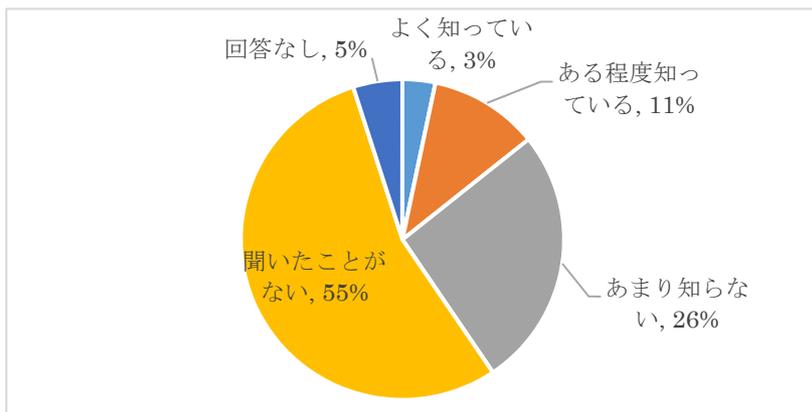


図15. カーボン・オフセットの認知度（問8、n=365）

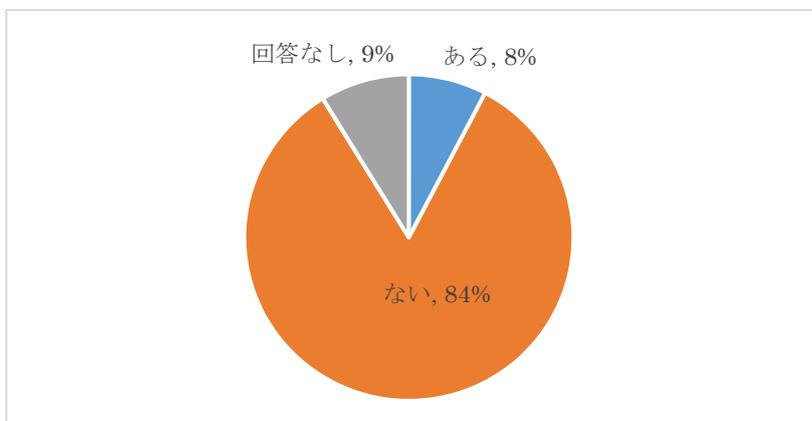


図16. カーボン・オフセット商品購入の有無（問9、n=365）

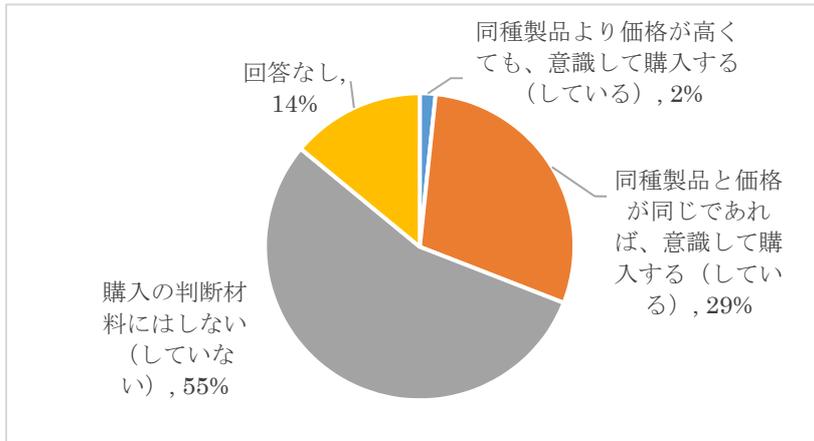


図 17. カーボン・オフセット商品を意識して購入するか (問 10、n=365)

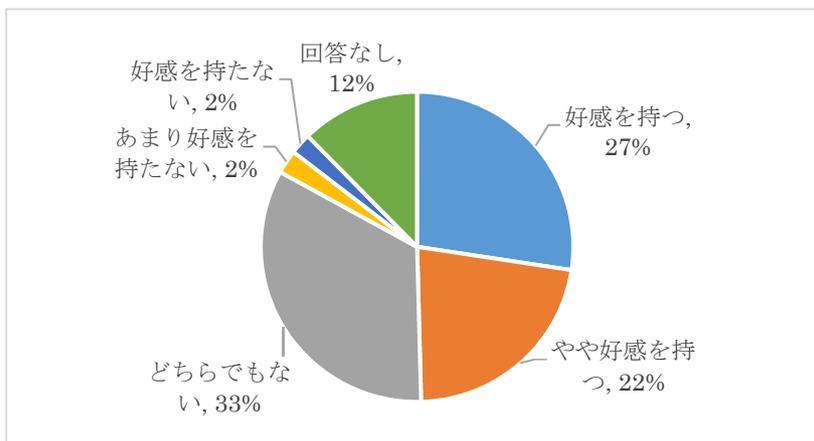


図 18. 企業がカーボン・オフセット商品・サービスを提供することについて好感を持つか (問 11、n=365)

3-5. 石狩市オフセット・クレジット（いしかり J-VER）について

1) 概要

問 12 の石狩市オフセット・クレジット（いしかり J-VER）の認知度は 3%でした（図 17）。そのうち、取組み内容の理解度（問 13）については「よく知っている」が 27%、「ある程度知っている」が 45%でした（図 18）。

問 14 の取組み内容への好感度は「好感を持つ」が 36%、「やや好感を持つ」が 45%との結果になりました（図 19）。

2) 集計結果（図）

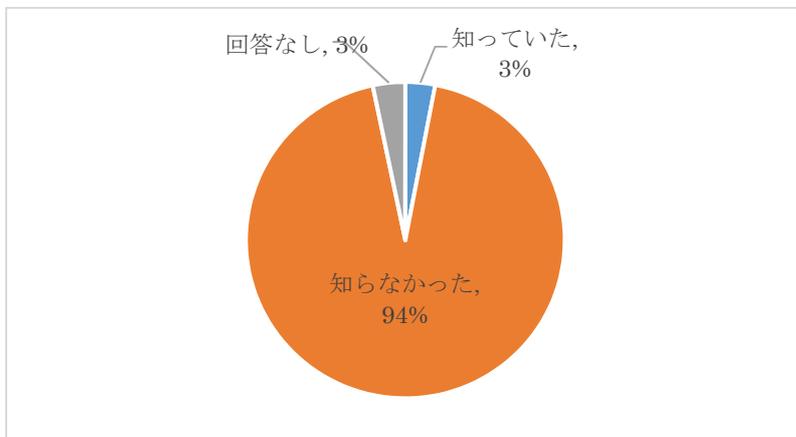


図 17. いしかり J-VER の認知度（問 12、n=365）

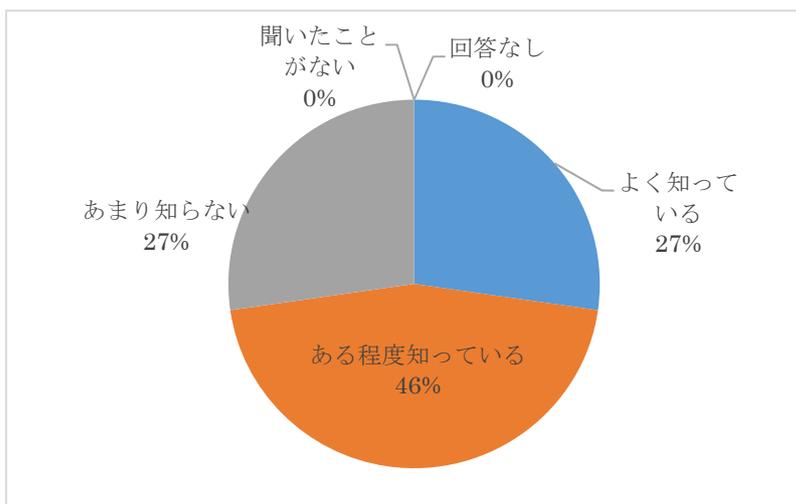


図 18. いしかり J-VER の理解度（問 13、n=11）

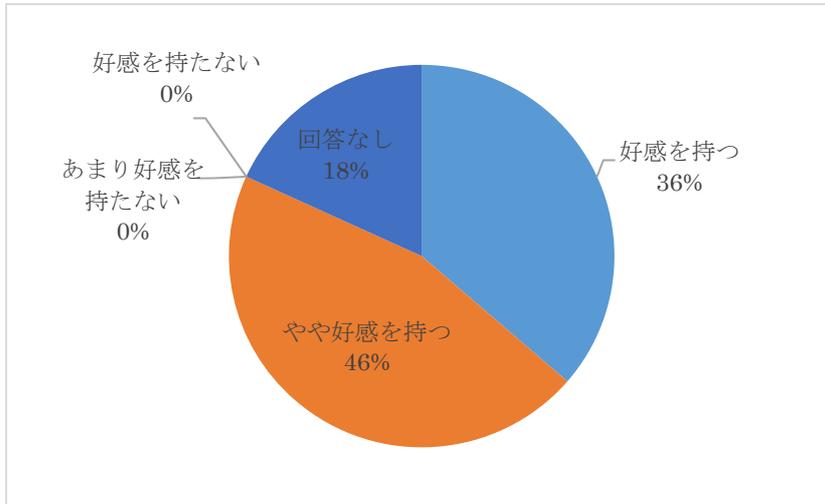


図 19. いしかり J-VER の好感度 (問 14、n=11)

4. アンケート調査票

「地球温暖化に関する市民アンケート調査」 提出期限：11月5日（月）

1) 地球温暖化に関する認識について

問1 あなたが、石狩市において温暖化の影響を実感するのはどれくらい先だと思いますか？
該当するもの1つに「○」をつけてください。

既に実感している ・ 10年後 ・ 25年後 ・ 50年後 ・ わからない ・ 温暖化は起きない

問2 あなたは、温暖化を防ぐため、暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか？
該当するもの1つに「○」をつけてください。

そう思う ・ ややそう思う ・ どちらでもない ・ あまりそう思わない ・ そう思わない

問3 あなたは、暮らしの中で温暖化対策につながる取組みを、どの程度実践していますか？
該当するもの1つに「○」をつけてください。

多少手間がかかっても積極的に実践している ・ 快適な生活を損なわない程度に実践している
どちらともいえない ・ あまり実践していない ・ 実践していない

問4 あなたが持つ温暖化対策に取り組むことへのイメージは、どのようなものですか？
お考えに最も近いもの1つに「○」をつけてください。

どちらかといえば、暮らしの質が低下するもの ・ どちらかといえば、暮らしの質を高めるもの
暮らしの質には影響を与えないもの ・ わからない

問5 国は2030年度までに26%（2013年度比）の温室効果ガスを削減することを目標にしていますが、あなたをご存知ですか？ 該当するものに「○」をつけてください。

知っていた ・ 知らなかった

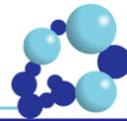
問6 ※¹国民運動「クールチョイス（COOL CHOICE・賢い選択）」という言葉は、あなたをご存知ですか？ 該当するものに「○」をつけてください。

知っていた ・ 知らなかった

用語解説

※¹国民運動「クールチョイス」とは？

国は、問5の目標を達成するため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、国民一丸となって温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組み「クールチョイス」を展開しています。 ※詳細は同封資料をご覧ください。



2) 省エネルギー行動実施状況について

問7 以下の行動内容について、あなたの実施状況に最も近いものをそれぞれ一つ選んで「○」をつけてください。また、実施していないと回答した場合、その理由を下欄「実施していない理由<選択肢>」から選び、番号を右欄<実践していない理由>にご記入ください。

実施していない理由 <選択肢>		
1. やり方がわからない	2. 省エネによる効果がわからない	3. 手間がかかる
4. 経費がかかる	5. 知らなかった	6. 生活や習慣を変えるのが難しい

行 動 内 容		実 施 状 況	実施している	実施していない	該当しない	実施していない理由
(例)	シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない		○			
	家族が続けて入浴するようにしている			○		6
	台所でお湯を使う場合は、温度を低めにしている				○	
給湯	シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない					
	家族が続けて入浴するようにしている					
	台所でお湯を使う場合は、温度を低めにしている					
テレビ	テレビの明るさを抑えている					
	テレビを使用しないときは主電源をオフにしている					
冷蔵庫	冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている					
	冷蔵庫に物をつめこみすぎないようにしている					
トイレ	温水洗浄便座の温水の設定温度を低めにしている					
	冬以外は暖房便座機能を使用しない					
照明	状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯・自動調光を含む）					
	短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている					
	白熱電球から高効率照明（LED）に交換している					
暖房等	暖房による室温設定は20度を目安にしている					
	運転時間の短縮を心がけている					
家電・調理	調理を行う時は、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている					
	炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている					
自動車	自動車をゆっくり加速させるなど、燃費の良い運転を心がけている					

3) カーボン・オフセットについて

問8 あなたは、^{※2}カーボン・オフセットという言葉をご存知ですか？

該当するもの1つに「○」をつけてください。

よく知っている ・ ある程度知っている ・ あまり知らない ・ 聞いたことがない

問9 あなたは、^{※3}カーボン・オフセット商品を購入したことがありますか？

該当するものに「○」をつけてください。

ある ・ ない

問10 カーボン・オフセットの商品・サービスについて、あなたは意識して購入しますか？

該当するもの1つに「○」をつけてください。

同種製品より価格が高くて、意識して購入する（している） ・ 同種製品と価格が同じであれば、意識して購入する（している） ・ 購入の判断材料にはしない（していない）

問11 企業がカーボン・オフセットの商品・サービスを提供することについて、あなたはどのように思いますか？ 該当するもの1つに「○」をつけてください。

好感を持つ ・ やや好感を持つ ・ どちらでもない ・ あまり好感をもたない ・ 好感を持たない

用語解説

《^{※2}カーボン・オフセットとは？》

日常生活や経済活動の中で、どうしても排出してしまう二酸化炭素（カーボン）を、他の場所で行われるCO₂削減活動に投資することで、埋め合わせ（オフセット）すること。

《^{※3}カーボン・オフセット商品とは？》

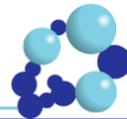
製品を製造/販売する者やサービスを提供する者等が、製品やサービスのライフサイクルを通じて排出される温室効果ガス排出量を埋め合わせる取組み。また、消費者がその商品やサービスを購入することにより、その代金の一部が企業を通じてCO₂削減・吸収の取組みに貢献できる。

（例）一般社団法人 石狩観光協会の観光名刺台紙

石狩観光協会が販売代金の一部を積み立て、一定額が貯まると「いしかり J-VER」を購入することから、消費者が商品を購入することで、カーボン・オフセットに貢献することができる仕組み。

※いしかり J-VER については、4ページをご覧ください。





4) 石狩市オフセット・クレジット（いしかりJ-VER）について

問12 *⁴オフセット・クレジット（J-VER）という言葉、あなたをご存知ですか？

該当するものに「O」をつけてください。

知っていた <<問13へお進みください>> ・ 知らなかった <<問15へお進みください>>

問13 *⁵いしかり J-VER の取組み内容を、あなたをご存知ですか？

該当するもの1つに「O」をつけてください。

よく知っている ・ ある程度知っている ・ あまり知らない ・ 聞いたことがない

問14 いしかり J-VER の取組み内容について、どのように思いますか？

該当するもの1つに「O」をつけてください。

好感を持つ ・ やや好感を持つ ・ どちらでもない ・ あまり好感をもたない ・ 好感を持たない

用語解説

《*⁴オフセット・クレジット（J-VER）とは？》

カーボン・オフセットの仕組みを活用して、国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量をオフセット・クレジット（J-VER）として認証する制度のこと。

《*⁵石狩市オフセット・クレジット（いしかり J-VER）とは？》

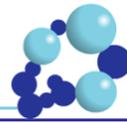
石狩市は、厚田・浜益区の市有林を適正に管理し、増加した二酸化炭素吸収量で J-VER を発行しています。この販売収入を活かし、森づくりをはじめとする環境施策を実施することで、森が育つとともに、厚田の沿岸に再びニシンの群来（くぎ）が現れる豊かな自然環境の形成を目指しております。

5) ご回答頂いたあなたについて

問15 ご回答頂いたあなたについて、それぞれ該当するもの1つに「O」をつけてください。

年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上
世帯人数	1人 ・ 2人 ・ 3人 ・ 4人 ・ 5人 ・ 6人 ・ 7人以上
住居形態	戸建住宅（持家） ・ 戸建住宅（賃貸） ・ 集合住宅（持家） 集合住宅（賃貸） ・ その他（ ）
職業	会社員（団体職員） ・ 自営業 ・ 公務員 ・ 学生 ・ 主婦（主夫） パート（アルバイト） ・ 無職 ・ その他（ ）
性別	男性 ・ 女性

記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送下さい。ご協力ありがとうございました。



HOKKAIDO
ENVIRONMENT
FOUNDATION

平成 31 年 2 月

北海道地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人 北海道環境財団）

〒060-0004

札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1 番地 伊藤・加藤ビル 4 階

TEL : 011-218-7811 FAX : 011-218-7812

ホームページ <http://www.heco-spc.or.jp>
